NIE特集

Newspaper In Education

毎月第2・4火曜日発行

どきどき東小学生

東四郎丸小

学校名　仙台市立東四郎丸小学校　校長　鈴木　啓二郎
所在地　仙台市太白区四郎丸昭和北1　児童　406人
電話　022（242）3155

大水から観音様救う

「カニ伝説」の由来教えて！

知り隊

わたしたちの住む仙台市太白区四郎丸には「カニ伝説」が言い伝えられている落合観音堂があります。カニ伝説とは、昔、近くの名取川がはんらんし、落合観音堂が流されそうになった時、無数のカニたちが、落合観音堂をつかまえて守ったというものです。わたしたちは「この伝説の由来などをもっと詳しく知りたい」と思い、落合観音堂神主の鈴木富男さんをたずねて、お話を伺いました。

観音堂の仏像も見せていただきました。最も興味深かったのは現在も夏になると、たくさんのカニたちがやってくるという観音堂の南側には、住宅地が広がっています。北側は、土手と畑の向こう約百メートル先に名取川があります。この立地条件の中、数え切れないほどのカニたちがやってきます。

落合観音堂の前で伝説について説明してくださる鈴木さん

鈴木さんは、カニたちは昔、観音様の材料になっているアララギ（イチイ）の樹液を吸いにきていたのではないかと推測しています。その上で、伝説の由来に触れ「観音様が流されている時に、カニたちが樹液で守ったのかもしれない。今でもカニたちが来るのは、恩返しがまだ続いているのかもしれない」と教えてくれました。

四郎丸は、このような伝説が残ることもあり、今でもカニたちがやってきます。もカニを大切にしている地域で、カニを食べない家庭があるほどです。また、落合観音堂には、カニが描かれている絵馬もあります。縁結びの観音様としても知られており、わざわざ九州から絵馬を奉納しに来る人もいます。

落合観音堂は、寛永四一（六二七）年伊達政宗の命令で建立されたと伝えられています。県指定の有形文化財です。

◇　◇

初めてのインタビューに緊張しましたが、取材をすることに、まったく知らなかった事実がたくさん分かってきて楽しかったです。

文・小幡惇佑、工藤克之、加藤奈月（6年）

樹液吸った恩返しに？

昨年夏に観音堂に集まってきたカニたち。鈴木さんが撮影しました

教え隊

拡大美化活動

拾った落ち葉も活用

落ち葉清掃をする東四郎丸小生と活動後に披露された美化レンジャーショー（左下）

わたしたちの学校には「拡大美化活動」という行事があります。拡大美化活動とは、地域の方々と児童全員で校庭にある約1000本の木々の落ち葉を拾う行事です。

この行事は、美化委員会が中心になって企画しています。みんなで拾った落ち葉を集めて「落ち葉プール」をつくるほか、活動の最後には、美化委員会による「美化レンジャーショー」があり、見ている人全員が笑いに包まれます。

休み時間には落ち葉プールで遊んだり、拾った落ち葉でしおり作りをしたりしました。

文・日塔有咲（6年）

編集後記

「よろしくお願いします」の大きな掛け声で新聞作りがスタートしました。始まる前は「すぐにできるよなあ」と思っていたけれど、休日に取材に行ったり、まとめたりするのはとても大変でした。

落合観音堂の取材では、実際に仏像を見せていただきながら、観音堂の歴史や伝説のお話を聞きました。

新聞作りはとても大変だったけれど、新聞作りを通して、今まで詳しく分からなかった「カニ伝説」などを調べることができてよかったと思います。協力していただいた皆さま、本当にありがとうございました。

〈編集委員〉小笠原里花、小幡惇佑、加藤奈月、工藤克之、五味瑠花、津本綾香、日塔有咲、森彩七（6年）

題字デザイン　小笠原里花（6年）

〈担当教諭〉大本志穂、桜井毅彦

言い隊

■優先席 若者は譲ろう■

わたしは、バスの優先席はお年寄りや体の不自由な人に譲るべきだと思います。若くて健康な人は座るべきではないと考えるのです。

若い人が譲ろうとしない場面を見たことがあります。市営バスに乗っていて、一人のおばあさんが乗車してきました。わたしは優先席に座っていた高校生が席を譲るだろうと思っていました。しかし、その高校生はおばあさんを見ようともしません。

わたしにできたのは、降りやすい位置を譲ることぐらいでした。この出来事で乗車マナーについて考えさせられました。「お年寄りへの気遣いの心」を持って行動するべきです。

（6年・津本綾香）

■「ありがとう」堂々と■

「ありがとう」と言うと、気持ちがスッキリしませんか？「ありがとう」の言葉は気持ちがスッキリするだけでなく、言われた相手の心も和みます。

例えば、横断歩道を渡ろうとして、車が止まってくれたとき「ありがとうございました」と声をかけてから渡ったり、きちんと頭を下げるだけでも、運転手の方はうれしいと思います。わたしの母も「お辞儀をしてくれるだけでも止まってよかったと思う」と言っていました。

「ありがとう」は、子どもも大人も言える、大切な言葉です。皆さんも感謝の気持ちをしっかり伝えるようにしましょう。

（6年・五味瑠花）

うきうきキャンバス

わたしのこけし　4年・工藤美奈

にじいろのさかな　2年・安宅優華

運せいめいろ　5年・永窪穂華

キラキラの家　3年・山寺誠一

ゆりと景色　6年・五味瑠花

わに　1年・高橋桃子

海に落ちたティラノサウルス　4年・松山海斗

次回（24日）は、遠見塚小（仙台市）と涌谷一小（宮城県涌谷町）です。

新聞作りに参加する小学校を募集しています。申し込みや問い合わせは河北ＮＩＥ推進事務局022（211）1331へ。